



# 兵庫県立がんセンター 消化器内科



「 短期間でも最先端のがん診療に触れてみませんか? 」

## 研修内容

### 病院の特色など

兵庫県立がんセンターは明石市にある病床360床のがん特化した専門病院で、「都道府県がん診療連携拠点病院」として多くのがん患者さんの診療を行っています。またがんゲノム医療拠点病院として遺伝子パネル検査・エキスパートパネルを積極的に取り入れ、がん腫を越えた個別化治療も推進しています。2027年度には新病院に生まれ変わります!

### 診療科の特色など

消化器内科は当センターにおける消化器がんに対する内科診療を担っています。内視鏡領域、肝胆膵領域、薬物療法領域に臨床診療を統合し、各領域リーダーを中心に各疾患についての診療をチームで行っています。基本的にスタッフは各領域に軸足を置きながらも全ての領域の診療に関わることで、専門性の向上と消化器がんジェネラリストの両立を目指しています。各領域カンファレンスと、各疾患カンサーボード(消化器外科、放射線診断科、放射線治療科など)を毎週行うことで、コンセンサスを形成しながら最良の診療方針を決定しています。

今年度は、嬉しいことに「がん診療を学びたい」との情熱を持った若い先生も加わり、とれも活気あふれる体制になっています。

### 実績(令和7(2025)年度)、その他

外来患者 21454名、入院患者 14,021名

内視鏡検査;

上部4,044件、下部1,730件、小腸6件、

ERCP227件、EUS 305件 (EUS-FNA111件)

内視鏡治療;

ESD286件、EMR234件、止血術39件、食道拡張術250件、EBS114件、

EST31件、PEG36件、PDT9件、消化管ステント7件

超音波ガイド下手技;

肝生検66件、治療: PEIT3件、RFA5件、MWA4件、経皮ドレナージ9件

経カテーテル治療件数(院内総数); 43件

薬物療法;

外来実施数; 4113件(静注のみ)

薬物療法新規導入患者数;

食道癌37名、胃癌46名、大腸癌78名、膵臓癌52名、胆道癌23例、

小腸癌2名、肝細胞癌15名、神経内分泌腫瘍13名

ペプチド受容体放射性核種療法(ルタテラ治療); 7名

学会認定:

日本内科学会認定教育関連病院、日本消化器病学会認定施設、

日本消化器内視鏡学会指導施設、日本肝臓学会認定施設、

日本膵臓学会認定指導医制度 指導施設、

日本胆道学会認定指導医制度 指導施設

## 専攻医の声

「がんセンターでの研修は、消化器内科医としての土台を固めるのにこれ以上ない環境でした。当初は高度な内視鏡手技(EUSやERCP、ESDなど)に対して不安がありましたが、上級医の先生方みなさんが熱心に常に寄り添って指導して下さるため、安心して挑戦することができました。また、薬物療法など主治医診療を通して、患者さんひとりひとりのがん診療に向き合う難しさややりがいを実感することができます。スタッフ間の垣根も低く、科全体で専攻医を育てようという温かい雰囲気があることががんセンターの1番の強みだと思います。半年間という限られた期間ではありましたが、毎日が新しい経験と学びに満ちていました。内視鏡手技もがん診療を通じた全身管理も妥協したくない先生に自信をもっておすすめできる研修です。ぜひご検討ください。」

飯田一裕(加古川中央市民病院所属 専攻医 2年次に6か月間研修)

## メッセージ

### 先輩からの一言

★当院ではESDやERCPなどの内視鏡治療に加え、EUSや肝処置など、幅広く従事することができます。また全消化器癌の化学療法やICIを用いた薬物療法にも携わることができ、経験豊富な指導医の先生方のもと日々奮闘しています。ぜひ当院と一緒に働きましょう! 見学もお待ちしています!

藤尾行恵先生(7年目)

### 上級医からのエール

★年間おおよそ食道ESD 110件、胃ESD 100件、大腸 ESD 60件、咽頭 ESD 25件、十二指腸EMR/ESD 25件 食道PDT 10件を行っています。楽しく内視鏡手技を学ぶことができますので、いっしょに内視鏡治療をしませんか?

山本佳宣: 内視鏡リーダー

★胆道癌・膵癌・神経内分泌腫瘍は非常に豊富な症例があります。化学療法、PRRT、内視鏡処置(EUS-TA、Interventional EUS、ERCP、POCS)において、経験が浅い若手の先生でも上級医とマンツーマンで習得できる体制を整えています。

三木生也: 胆膵リーダー

★肝癌の症例も豊富で、他科との合同カンファレンスを通じて幅広い知見を得ることができます。さらに週1回神戸大学消化器内科松浦先生お迎えして、積極的にエコー下肝処置(肝生検、PTBD、RFA/MWA)を行っており、若手の先生が集中して技術を習得できる場となっています。

榎田早絵子: 肝リーダー

★様々な消化器がんに対する薬物療法が経験できます。上級医に教えてもらいながら、診断~治療~緩和ケアまでの流れが身に付きます。また多くの臨床試験や治験を行っており、新薬に触れる機会も多く薬物療法の専門的な知識を得て更なるステップアップも望める環境です。

武川直樹: 薬物療法リーダー